

# 日本救急医療財団の活動報告

橋本 昌男 事務局長

2023年10月中旬から12月上旬までの財団の活動について報告します。

## 総務部門に関する報告

平田 真教 総務部

### 1. 第1回特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に関する委員会開催について

特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に向けた調査・検討業務については、内閣府と10月6日付けで委託契約を締結しました。第1回委員会は10月26日（木）17時からWeb会議方式により開催しました。

委員会における具体的な検討内容は、「アナフィラキシーに対するアドレナリンの筋肉内注射」について、「救急医療の現場における医療関係職種の在り方に関する検討会」で議論された内容に則って、特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証を行うためのプロトコルの作成、MC協議会の選定要件の策定及び実証から得られるデータの収集・分析・評価方法等に関する調査・検討を行い年度内に取り纏めることとしました。

### 2. 第2回特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に関する委員会開催について

11月22日（水）17時からWeb会議方式により第2回特区制度を活用した救急救命処置の先行的な実証に関する委員会を開催しました。

主な検討事項としては、研究デザイン・倫理担当、プロトコール担当、MC体制整備・有害事象対応担当、データ収集・解析担当及び広報担当委員からそれぞれの役割分担に関する検討状況を説明し、次回、アドバイザーを含めた対面方式による委員会開催に向け、検討を深めました。

## 研修研究部門に関する報告

風間 和則 研修研究部

### 1. 令和5年度救急医療業務実地修練等研修事業について

#### ○病院前医療体制における救急救命士業務実地修練

令和5年11月6日（月）から11月10日（金）までの5日間、オンライン（Zoom）による病院前医療体制における救急救命士業務実地修練を開催しました。

受講対象者は、(1) 消防機関等において、現に救急救命士として救急業務に従事している者、(2) 現に救急医療に従事している者であって、救急救命士免許を取得している者、であり全国から受講定員（50名）を超える58名が参加しました。

研修プログラムでは、①救急救命士制度の将来像（講義・WS）、②周産期、母子救急疾患（講義）、③意識障害、脳卒中（講義）、④症状・徴候 観察のコツ（講義、WS）、⑤心肺停止前の特定行為について（講義・WS）、⑥精神科的問題を持つ傷病者へのアプローチ（WS）、⑦呼吸不全、重症喘息（講義）、⑧循環不全、急性冠症候群（講義）、⑨小児救急疾患（講義）、⑩外傷、熱傷、電撃傷（講義）、⑪急性中毒、溺水、熱中症、低体温（講義）、⑫安全な救急業務管理（危機管理）（WS）、⑬MCにかかる諸業務の管理・運営（WS）、⑭緊急度判定の理論と実践（WS）、を実施し、また、病院前医療体制における指導医等研修（上級者）受講者と合同で開催した研修として⑮我が国の救急医療体制と病院前医療体制※現状と課題を含む（講義）、⑯通信指令業務について（講義）、⑰通信指令業務の事後検証について（講義）、⑱局地災害における消防活動（講義）、⑲局地災害時のMCに関する問題の理解（WS）を実施しました。WSにおいては、Zoomのブレイクアウト機能を使用し、10班に分かれたディスカッションでは、活発な意見交換と受講者自身による体験を通して受講者相互間での連帯感が深められ、特に病院前医療体制における指導医等研修（上級者）受講者と合同で行われた講義・WSでは救急救命士と医師による活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。

なお、開催にあたっては事前に「Zoom操作マニュアル（受講者用）令和5年度版」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に研修を終了しました。

### ○病院前医療体制における指導医等研修（上級者）

令和5年11月8日（水）から11月10日（金）までの3日間、オンライン（Zoom）による病院前医療体制における指導医等研修（上級者）を実施しました。

受講対象者は、5年以上の救急臨床歴があり、(1)救急科専門医やそれと同等の資格を有する医師、(2)2年以上の地域メディカルコントロール担当医として経験を積んだ医師、(3)地域においてBLS、ACLS、JPTEC、JATECなどの講習会や救急隊教育において指導歴がある医師、に全て該当する医師であり、全国から受講定員（50名）を超える52名が参加しました。

研修プログラムでは、①救急に関する消防の取り組み（講義）、②「搬送と受け入れ実施基準と緊急度判定（WS）、③救急医療体制にかかる調整（WS）、④救急医療体制にかかる調整（高齢者への対応）（WS）、⑤MC及び指導医の今後の展開（WS）、⑥生涯教育システムの構築（講義）、⑦救急救命士等に対する教育（講義、WS）を実施し、また、救急救命士業務実地修練受講者と合同で開催した研修では⑧我が国の救急医療体制と病院前医療体制※現状と課題を含む（講義）、⑨通信指令業務について（講義）、⑩通信指令業務の事後検証について（講義）、⑪局地災害における消防活動（講義）、⑫局地災害時のMCに関する問題の理解（WS）を実施しました。WSにおいては、Zoomのブレイクアウト機能を使用し、10班に分かれてたディスカッションでは、活発な意見交換と受講者自身による体験を通して受講者相互間での連帯感が深められ、特に病院前医療体制における救急救命士業務実地

修練受講者と合同で行われた講義・WS では医師と救急救命士による活発な意見交換がなされ、大変有意義な研修会となりました。

なお、開催にあたっては事前に「Zoom 操作マニュアル（受講者用）令和 5 年度版」等を受講者に配布するなど研修準備を進めるとともに、オンラインへの接続等について受講者からの問合せに速やかに対応できる体制を整えたことにより、円滑に研修を終了しました。